



# ぐんま“まちづくり”ビジョン シンポジウム

群馬県 県土整備部 都市計画課

群馬県都市計画協会と群馬県主催による「ぐんま“まちづくり”ビジョン シンポジウム」が平成31年1月24日(木)、群馬会館ホールで開催されました。

## ■基調講演「リノベーションと公的不動産活用でまちを元気にする」



佐々木先生

人口減少・高齢化が同時に進行する中では、中心市街地などの“まちのまとまり”を維持し、持続可能なまちづくりを考える必要があることから、元国土交通省 国道交通政策研究所所長 佐々木晶二様に講演いただきました。

これからのまちづくりの基本原則として、計画の実行性のため財政面を念頭に置き、また、不確実な将来を考慮して計画変更が効くように小規模・連鎖・段階的に進めていくこと。その点において、リノベーションと公的不動産活用はお金の問題と小規模連鎖型の双方を満たす、最も有効な手法であること。そして、公的不動産活用では財政面に負担をかけずに維持管理・サービス向上を図るため、法律を有効に活用し、民間と連携している外国を含めた自治体の紹介などをしていただきました。特に、規制緩和による移動販売車での高齢者支援の事例紹介では、まちづくりや都市計画が福祉に貢献している事例として、とても印象深いものでした。他にも、新しいまちづくりの取り組みを実現する

ための組織として、何でも言える、どんなアイデアも出せる環境づくりが重要であるとお話いただきました。佐々木様、貴重な講演をありがとうございました。

## ■事例発表1 都市構造の変遷を見える化しました

群馬県では、この10年で「まち」全体や身近な地域がどう変わったかを分析し、群馬県のまちの特徴である「中心部の人口減少」と「拡散」についてGoogle Earth<sup>®</sup>上で誰でも見られるように「見える」化し、県ホームページで公表しています。その取り組みを群馬県都市計画課の下山主幹が紹介しました。このまま、「中心部の人口減少」と「拡散」が進んだら、「まち」はどうなるのか。群馬県民のみなさんと一緒に考えていくものです。ぜひ、ホームページをご覧ください。

群馬県 HP「群馬のまちの現状について」

URL : <http://www.pref.gunma.jp/06/h5800361.html>

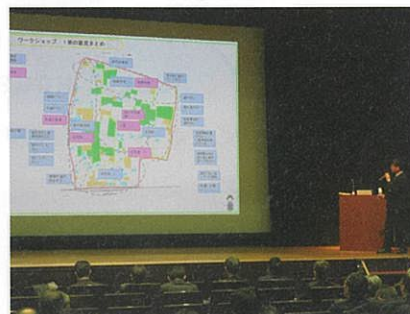


大塚さん

## ■事例発表2 富岡市における「まちのまとまり」づくり

富岡市における「まちのまとまり」づくりと題して、「富岡まち繰るみ舎」の取り組みについて富岡市拠点整備課の大塚係長代理に、上州富岡駅北の定住人口増に向けた取り組みについて同市都市計画課の杉本主事に事例発表いただきました。

まちなかを中心とした富岡市の現状・課題を皮切りに、市の地域資源として、遊休化した民間不動産をゲストハウスへリノベーションする事例や市役所前の広場を活用した事例をご紹介いただき、まちを一つの宿と見立て宿泊施設と地域の日常をネットワークさせ、まちぐるみで宿泊客をもてなす事で地域価値を向上させる事業である“まちやど”について、その目的・効果をお話しいただきました。また、上州富岡駅北の定住人口増に向けた取り組みについては、上州富岡駅北地区の課題を解決するための施策として進めている地区計画について説明いただきました。



杉本さん



坂本さん(向かって左側)

## ■事例発表3 伊勢崎市の立地適正化計画

平成30年7月1日に公表された伊勢崎市立地適正化計画について、伊勢崎市都市計画課の坂本主任に発表いただきました。伊勢崎市の土地利用・人口動向の現状について紹介があり、市街地の人口密度を維持・誘導するため、低密度市街地の拡散を抑制する等都市づくりの基本理念に基づき策定された立地適正化計画における居住誘導区域及び都市機能誘導区域の設定のポイント、誘導施設の設定の考え方と誘導施策の方針、そして将来の人口密度の目標値を発表いただきました。

